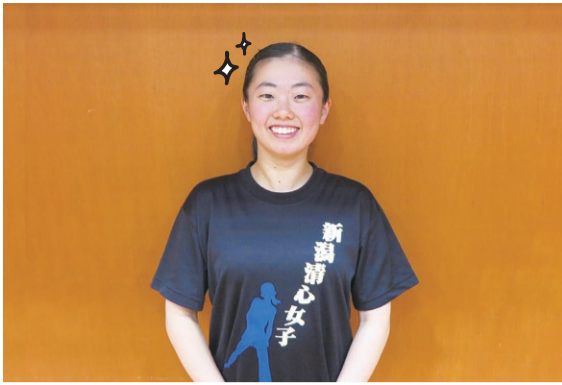


本気でやるから面白い。

輝く高校生⑩

スポーツなどに取り組む高校生を紹介します。



新潟清心女子高等学校 2年生
星野 弥生さん(ダンス部)

将来の夢/国際関係の仕事
好きな科目/英語・数学

チーム一丸となった踊りで全国上位へ

小学生の時、同校の学園祭でダンス部の演技を見て、同校中等部への進学を決めた星野さん。「中学生の頃は踊ることだけに夢中でした。今はダンスを通して気持ちを表現することも楽しんでいきます」と話します。

「こつこつ努力して、振りを自分のものにしていくのが持ち味です」と語る星野さん。現在同部の新キャプテンとして、練習のメニューを考えたり、指示を出したりと、

部をまとめています。昨年に引き続き今年も出場した全国大会では、ダンスはもちろん、普段の行動の速さや練習時の声出しなど、多くのことを強豪校から学んだそうです。「大会前はプレッシャーで押しつぶされそうですが、踊り終わった後に観客からもらえる拍手が今の原動力です。来年の大会では少しでも上位にいけるように、チーム一丸となって頑張ります」と力強く語ってくれました。

連載

未来への扉③



図書館司書がおすすめする、子ども・子育て世代向けの本を紹介します。
問 亀田図書館 (☎025-382-4696)



『ももいろのきりん』 作：中川李枝子 絵：中川宗弥
出版社：福音館書店
発行年：1965年
市内図書館所蔵数：33冊



あらすじ

お母さんから大きな桃色の紙をもらった「るるこ」は、その紙で世界一きれいな桃色のキリン「キリカ」を作ります。最後に目と口を描くと喋り始めるキリカ。るるこはキリカと一緒に遊びます。次の日、キリカは雨にぬれ、色あせてしまいました。

るるこはキリカをきれいな桃色に戻すために、キリカと「クレヨン山」まで向かうことに。クレヨン山にすむ動物たちと出会い、大冒険が始まります。

おすすめポイント

「自分の作ったものが動き出したら…」と子どもの頃に一度は思う夢が形となった物語です。桃色が映えるダイナミックな挿絵は、登場人物を生き生きと描いていて、今にも飛び出してきそうです。

元気で一生懸命な「るるこ」と「キリカ」が大冒険を繰り広げる姿を見ていると、元気をもらえます。小学生になる前の初めての物語の1つとして、最初は子どもに読んであげながら、ぜひ家族と一緒に楽しんでください。

12/3(日)～9(土)は障害者週間

障がいのある人への理解を深めよう

問 障がい福祉課 (☎025-226-1237、FAX025-223-1500)

解説動画を公開中 誰もが共に生きるための条例

新潟市では「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を定め、障がいを理由とした差別を解消し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指しています。

同条例が定める、障がいのある人に対する合理的配慮などについて、当事者やワークショップに参加した大学生が動画に出演して紹介しています。

動画は、動画配信サイト「YouTube」内の「新潟シティチャンネル」で公開しています。



スマートフォンはこちらから

つながる、広がる ともにプロジェクト

人が行き交うまちなかに障がい者アートを展示するなどして、障がいのある人への理解の促進を図っています。



こども創造センター



スマートフォンはこちらから

見かけたら配慮を 思いやりのマーク



ハート・プラスマーク

心臓や免疫など体内に障がいがあることを示す



耳マーク

耳が不自由であることを示す



マタニティマーク

周囲に妊婦であることを示す



ヘルプマーク

外見から分からなくても周囲から援助や配慮が必要であることを示す



身体障害者標識 (四つ葉マーク)

体の不自由な人が運転する車であることを示す



聴覚障害者標識 (蝶々マーク)

聴覚障がい者が運転する車であることを示す

コーヒーでひと息

まちなかほっとショップ

新潟市内の障がい福祉施設で製作されたお菓子や雑貨などを販売しています。また、お菓子によく合う「雪室コーヒー」やオリジナルブレンドコーヒーを購入して飲むことができます。景品や弁当などの注文も受け付けています。

場 NEXT21・3階
日 月～金曜10時～16時
問 同施設 (☎025-211-8517)



同ショップのInstagramはこちらから



市ホームページバナー広告 掲載事業者を募集

1カ月間だけの掲載でもOK



月額30,555円
問 広報課 (☎025-226-2111)

